



大砂土中だより

はつ らつ

澆 刺 と

さいたま市立大砂土中学校

048-684-8004

<http://osato-j.saitama-city.ed.jp>

No.1 平成28年4月8日号

「自ら学び 考え 行動する生徒の育成」をめざして

校長 清水 一司

弱々しく感じていた冬の日差しは、日ごとに力強さを増し、校長室から見る景色は輝きを取り戻しつつあります。吹く風は、まだいくぶん冷たさを残しているものの、柔らかさを感じられるようになりました。本校では、本日、新たに201名の1年生を迎え、全校生徒644名で平成28年度の教育活動をスタートすることができました。

さて、年度のはじまりに当たる本号では、本年度の本校の学校教育目標等についてお知らせいたします。

平成28年度 さいたま市立大砂土中学校の教育

学校教育目標 「自ら学び 考え 行動する生徒の育成」

校訓 「澆刺と」

○めざす学校像

学ぶ喜び、教える喜びを感じる「真の学び舎としての学校」

明るい笑顔とあいさつがあふれ、生徒が生き生きと活動する「元気な学校」

家庭・地域と共に澆刺と活動する「活力あふれる学校」

○めざす生徒像

(知) かしこさ 自ら学び、進んで考える生徒

(徳) ただしさ 正しく判断し、進んで行動する生徒

(体) たくましさ ねばり強く、進んで鍛える生徒

(コ) ゆたかさ 思いやりをもち、進んで奉仕する生徒

※(コ)…コミュニケーション

本年度、本校では、学校経営の重点目標の一つに「学力の向上をめざした学習指導の充実」を掲げております。具体的な取組としては、さいたま市教育委員会から三つの研究委嘱を受け、学力の向上をめざした研究を進めてまいります。一つ目は「教育課程」研究指定校としての研究です。本校では、昨年度、「分かりやすい授業づくり」の研究に独自に取り組み、指導方法の工夫改善を図ってまいりました。その成果として、生徒や保護者を対象としたアンケート調査等で高い評価をいただくことができました。本年度は、昨年度の取組をさらに深化させ、「主体的・協働的な学び」の在り方を追究してまいります。二つ目は「英語教育研究開発モデル校」としての研究です。本校は、昨年度、他のさいたま市立中学校に先駆けて、従前の英語科に代わるグローバル・スタディ科を実施し、カリキュラムの実践研究を中心とした研究に取り組んでまいりました。本校の研究成果は、本年度から全てのさいたま市立中学校で展開されるグローバル・スタディ科のモデルとなって

います。本年度は、昨年度の研究成果を踏まえてカリキュラムの実践研究を中心に研究に取り組み、さらなる英語教育の充実を図ってまいります。三つ目は「さいたま市小・中一貫教育」推進モデル校としての研究です。本校では、この研究に平成24年度から継続して取り組んでおります。小・中学校の円滑な接続に留意した教育活動を展開することは、いわゆる「中1ギャップ」の緩和を図るとともに、小学校、中学校ともに児童・生徒の学力の向上に効果があるものと考えております。

これ以外にも、本年度、本校では、学校経営の重点目標に「心豊かな生徒を育成する道徳教育と生徒指導、教育相談の充実」「安全・安心で心を潤す教育環境の整備と危機意識の醸成」「『全ては生徒の未来のために』を合言葉とした保護者・地域との連携強化」を掲げ「自ら学び 考え 行動する生徒の育成」をめざして、教育活動に力を注いでまいります。

最後になりましたが、保護者の皆様、地域の皆様には、昨年度までと同様、本年度も本校教育活動に対しまして、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。